

2027 年度入学 学費・奨学金シミュレーター 利用者向けガイド

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

受験を検討している方とご家族へ

対応版 v1.0.9 公式リンク追加・制度再確認版に対応
ガイド改訂日 2026 年 9 月 24 日 試験掲載に関する案内を更新

このシミュレーターでは、学納金・教材費などと自己資金・奨学金・教育ローンを合わせて、3 年間の資金の見通しを確認できます。本書では操作方法と結果の読み方を説明します。

本シミュレーターは試験的に掲載しているため、操作、表示内容、試算結果、不具合等に関するお問い合わせは受け付けておりません。

表示する金額等と本書の金額例は、あくまでも試算・参考情報です。制度・学費等の変更や個別の審査により実際と異なる場合があります、金額や試算結果を保証するものではありません。

最初はこの順番で操作します

- 1 本校から案内されたシミュレーターの URL を開きます。スマートフォンでもパソコンでも利用できます。
- 2 「1 基本費用」で、生活費も含めるかを決めます。学納金や教材費は自動で計上されます。
- 3 「2 返済不要の支援・免除」で、利用を想定する支援を選びます。区分が分からない項目は「利用しない・区分不明」等のままでも試算できます。
- 4 「3 貸与型奨学金・教育ローン・自己資金」で、貸与額・月数と、準備できる自己資金を入力します。
- 5 「試算する」を押し、総収支、返済元金、費用の内訳、確認事項を読みます。条件を変えたら、もう一度「試算する」を押します。

知りたい内容から読む

[費用と生活費 第1章](#) / [JASSO の給付と減免 第2章](#)
[社会人とひとり親の支援 第3章](#) / [月額の貸与 第4章](#)
[入学時の資金と自己資金 第5章](#) / [結果の読み方 第6章](#)

[入力例 第7章](#) / [困ったとき 第8章](#)

[確認事項・リンクの使い方・試験掲載 第9章](#) / [公式リンク一覧 第10章](#)

この操作で奨学金やローンの申込みは完了しません。申請は各実施機関の案内に沿って別途行います。

金額を直接入力する欄は、円単位の半角数字で入力します。例：10 万円は「100000」。通学形態や支援区分を変更した後は、月額・月数を見直してください。

1 基本費用と生活費を確認する

「1 基本費用」では、必要に応じて生活費を追加します。学納金・教材費等は自動計上されますので、「費用の内訳」で確認してください。

以下は 2026 年 9 月 24 日更新の設定に基づく参考額です。生活費は含みません。実際の請求額を保証するものではありません。画面の金額と本校の最新案内を併せて確認してください。単位は円。

項目	1 年次	2 年次	3 年次	3 年間
入学金	100,000	0	0	100,000
授業料	360,000	360,000	360,000	1,080,000
教育維持費	100,000	100,000	100,000	300,000
教科書（電子・書籍）	140,000	11,000	0	151,000
ユニフォーム・演習セット	45,000	0	0	45,000
実習用品（バッグ等）	5,000	0	0	5,000
模試代・実習費	8,000	15,000	35,000	58,000
学習支援システム	3,000	0	0	3,000
臨地実習支援システム	18,000	0	0	18,000
入学前学習	20,000	0	0	20,000
iPad	80,000	0	0	80,000
合計	879,000	486,000	495,000	1,860,000

iPad 80,000 円は概算です。入学前学習 20,000 円は公式案内では任意ですが、この試算では参加する前提で 1 年次に計上します。学習支援・臨地実習支援のシステム費は、初期設定では 1 年次に各 1 回の支払いを想定しています。

ユニフォームは男女共通です。入学検定料・ワクチン接種費は計上しません。

生活費を加えるとき

「生活費も含めて試算」をオンにし、住居費、食費・日用品等、通学費、その他を月額で入力します。月額の合計を 36 か月分加算します。「転居・生活準備費（一時金）」は 1 年次に 1 回だけ加算します。

例として、通学費を月 12,000 円だけ追加すると、12,000 円×36 か月＝432,000 円増え、総費用は 2,292,000 円です。オフにすると、生活費欄の金額は計上しません。

教科書等の一部は学校指定の試算額で、公式ページの掲載額と異なる場合があります。実際に必要な費用は本校の最新案内で確認してください。

[本校公式 学費と奨学金制度](#)

2 JASSO の給付と授業料等減免を選ぶ

「2 返済不要の支援・免除」で設定します。JASSO は日本学生支援機構のことです。給付は受け取る支援金、減免は入学金・授業料の負担を減らす支援です。

- 1 「高等教育の修学支援新制度・JASSO 給付区分」を選びます。採用候補者決定通知などを確認し、不明な場合は「利用しない・区分不明」で試算します。
- 2 「通学形態」を選びます。「自宅通学（生活保護世帯・社会的養護該当）」は、該当条件を確認できた場合に使用します。
- 3 「JASSO 給付月数」を 0～36 か月で入力します。3 年間受ける想定なら 36 か月です。学生本人の高等職業訓練促進給付金を選ぶと、0 か月に固定されます（第 3 章参照）。

支援区分は年収だけでは確定しません。自宅外通学や多子世帯の認定にも条件があります。JASSO 公式シミュレーターも目安です。実際の認定・採用結果を確認してください。

給付の月額目安

給付区分	自宅通学	自宅の特別区分	自宅外通学
第Ⅰ区分	38,300 円	42,500 円	75,800 円
第Ⅱ区分	25,600 円	28,400 円	50,600 円
第Ⅲ区分	12,800 円	14,200 円	25,300 円
第Ⅳ区分+多子世帯	9,600 円	10,700 円	19,000 円

「自宅の特別区分」は上記の生活保護世帯・社会的養護該当の場合です。「多子世帯（第Ⅰ～Ⅳ区分外）」では、給付月額は 0 円とし、入学金・授業料の減免を試算します。

給付月数と減免期間は別の設定です

給付は入力した月数分を計算します。授業料等減免は、入学時から 3 年間、選択した区分が続く想定です。給付月数だけを 0 にしても、減免は残ります。どちらも利用しない試算は、区分を「利用しない・区分不明」に戻してください。

初期設定で第Ⅲ区分を選ぶと、1 年次の減免は入学金 33,400 円+授業料 120,000 円=153,400 円です。教育維持費や教材費は、この授業料等減免の対象に加えていません。

途中からの採用、支援区分の変更、休学などは、実際の支給・減免の決定内容と照らして確認してください。月額支援は 1 年次から連続して受ける前提で年次別に計上します。

[JASSO 公式 給付奨学金の支給額](#)

[JASSO 公式 進学資金シミュレーター](#)

[文部科学省 高等教育の修学支援新制度](#)

3 社会人とひとり親向けの支援を選ぶ

「2 返済不要の支援・免除」で設定します。対象が分からない場合は「利用しない・対象不明」のまま進め、各実施機関の最新の公式案内を確認してください。

専門実践教育訓練給付金

対象者、講座指定、雇用保険の加入期間、受講前の手続をハローワークで確認します。基本給付は 50%、資格取得・就職等の条件達成で合計 70%、さらに賃金上昇等の条件達成で合計 80%を選びます。割合は足し合わせません。

上限や支給単位ごとの経費により、実際の給付額は異なります。

ひとり親向け 自立支援教育訓練給付金

修了時 60%、資格取得・就職等の条件達成時は合計 85%を選びます。雇用保険の教育訓練給付も受ける場合は両方を選択します。本試算は、自立支援の支給目標額から雇用保険給付を差し引きます。

対象者要件、受講前の講座指定・申請、制度の実施状況は、お住まいの自治体に確認してください。

教育訓練の対象経費を入力する

「教育訓練の対象経費（減免前・3 年間合計）」を入力します。初期値 1,180,000 円は入学金と 3 年間の授業料の仮置きです。実際の対象経費を確認してください。授業料等減免は計算時に差し引きます。

ひとり親向け 高等職業訓練促進給付金

学生本人が受給する場合に、住民税非課税・課税世帯を選びます。保護者の受給はこの欄に入力しません。36 か月受給し、最後の 12 か月の加算と修了後給付を受ける想定です。実際の期間・継続要件は自治体に確認します。

学生本人がこの給付を受けている間は、JASSO 給付奨学金を受け取れません。本試算では「JASSO 給付月数」を 0 か月に固定します。授業料等減免の支援区分と第一種の併給調整は維持します。減免には別途認定が必要です。

この給付を「利用しない・対象不明」に戻しても、JASSO 給付月数は 0 か月のままです。JASSO 給付を試す場合は、予定月数を入力し直してください。期間を分けた受給は個別に試算できません。

その他の返済不要給付

受給額と併用条件を確認できた給付だけ、合計で入力します。この欄は併用可否を自動判定しません。他欄の給付は重複入力しないでください。

4 月額の貸与型奨学金を選ぶ

「3 貸与型奨学金・教育ローン・自己資金」で入力します。貸与とは、返還を前提に借りることです。勤務などによる返還免除は、定められた条件を満たし、認められる必要があります。

本校と自治体の奨学金

画面の制度	初期設定の月額	入力する内容
聖マリアンナ看護学生奨学金	60,000 円	貸与月数。利用しない場合は 0 か月。
神奈川県 一般	20,000 円	制度と貸与月数。
神奈川県 特例	40,000 円	制度と貸与月数。希望者は初回加算も選択。
川崎市	32,000 円	制度と貸与月数。

本校奨学金は「本校独自奨学金、月額 60,000 円・勤務償還あり」と表示されます。選考や勤務償還の条件は本校の最新の公式案内をご確認ください。自治体の欄は、神奈川県一般・特例・川崎市のいずれか 1 つを選ぶ仕様です。実際の併用可否は、学校・県・市の最新の案内で確認してください。

神奈川県の特例と初回加算

特例には世帯の課税状況などの要件があります。1 年次に希望する場合は「初回加算 100,000 円を希望」にチェックします。加算は 1 回限りで、特例の貸与月数が 0 か月の場合や、加算だけの利用はできません。

特例貸付と修学支援新制度の授業料等減免・JASSO 給付は併用できません。給付月数だけを 0 にしても、支援区分を選んでいる間は減免が残るため、特例は選べません。2027 年度の募集条件は正式案内で確認してください。

JASSO 第一種と第二種

第一種は無利子です。月額は、支援区分・通学形態に対応する選択肢から選びます。給付等による調整で月額が減る、または 0 円となる場合があります。すべての金額が常に関わるわけではありません。

第二種は有利子です。月額 20,000～120,000 円を 10,000 円刻みで選びます。どちらも貸与月数を確認し、3 年間受ける想定なら 36 か月とします。実際の月額と期間は採用通知等に従ってください。

支援区分や通学形態を変えると、第一種の月額が「利用しない」に戻る場合があります。変更後の説明を読み、月額を選び直してください。

[本校公式 奨学金制度](#)

[神奈川県 看護師等修学資金の案内](#)

[JASSO 公式 第一種の併給調整](#)

5 入学時の資金と自己資金を入力する

JASSO 入学時特別増額貸与奨学金

第一種または第二種に追加する、有利子の奨学金です。100,000 円・200,000 円・300,000 円・400,000 円・500,000 円から選びます。入学月の奨学金に一時金を加算し、入学後に 1 回だけ貸与されます。入学前には受け取れません。

- 1 先に第一種または第二種の月額と貸与月数を選びます。
- 2 「JASSO 入学時特別増額貸与奨学金（一時金・有利子）」で金額を選びます。
- 3 表示された利用条件で「家計基準により国の教育ローンの申込が不要」または「申込み・確認の結果、国の教育ローンを利用できなかった」の該当する方を選びます。

第一種に採用されても併給調整で月額 0 円になる場合は、該当条件で表示される「第一種に採用され、併給調整で月額 0 円となる場合を想定する」にチェックします。採用の想定がない場合は使用しません。

利用条件は採用候補者決定通知や JASSO の案内で確認してください。すべての利用者に、国の教育ローンの審査不承認が必要という扱いではありません。

国の教育ローン

主に保護者等が借り入れ、返済する有利子のローンです。利用しない場合は 0 円、利用する場合は 100,000 円以上を 10,000 円単位で入力します。本試算の上限は自宅通学 3,500,000 円、自宅外通学 4,500,000 円です。実際には所得・使途・既存借入残高などの要件と審査があります。

対象は今後 1 年間の費用です。本試算では今回の借入 1 回分を 1 年次に計上します。2・3 年次の追加借入、在学中の返済、利息・保証料は計算しません。通学形態を選ぶだけで融資が認められるものではありません。

組み合わせ	この試算での扱い
国の教育ローンと JASSO 第一種・第二種・給付	併用して計上できます。
国の教育ローンと JASSO 入学時特別増額	併用できません。切り替える場合は、先に利用中の金額を 0 円または「利用しない」に戻します。

準備できる自己資金と家族からの支援

「準備できる自己資金・家族からの支援（合計）」に、3 年間に充てる予定の貯蓄や家族の支援を入力します。月額ではなく合計額です。選択済みの奨学金・給付・教育ローンは含めません。例えば、貯蓄 50 万円と本校奨学金を利用する場合、自己資金欄は 500,000 円とします。

[JASSO 公式 入学時特別増額の利用条件](#)

[日本政策金融公庫 国の教育ローン](#)

6 試算結果を読む

入力後に「試算する」を押すと、結果を表示します。スマートフォンでは入力欄の下に結果が続きます。まず「3年間の総収支（自己資金・奨学金等を含む）」を確認してください。

総収支 = 自己資金 + 給付と減免 + 貸与と借入 - 総費用

表示	意味
プラス	入力した費用に対し、資金と支援が上回る見込みです。
マイナス	入力した費用に対し、資金と支援が不足する見込みです。
0円	入力した費用と、資金・支援の合計が同額です。

減免は、費用の負担を減らす支援として1回だけ収支に含めます。貸与・借入も資金に含むため、プラスでも返済がなくなるわけではありません。生活費を入力していない場合は、生活費を含めて再確認してください。

返済に関する欄を確認する

- ・「貸与・借入元金（返済・免除前）」は、借りる元金の合計です。
- ・「条件達成で免除され得る元金」は、本校・自治体の勤務等の条件を満たす場合に、返還免除の対象となり得る額です。
- ・「勤務免除後も返済対象となる元金」は、すべての勤務免除条件を満たす想定で残る元金です。免除が認められない場合は、表示額より返還対象が増えます。

元金の表示には、在学中の返済、利息、保証料を反映していません。卒業時点の実際の残高や、利息を含む総返済額ではありません。返済額・期間は各制度の案内や返還シミュレーションで別に確認してください。

年次別と内訳を見る

「年次別の見通し」で1～3年次の費用・減免・給付・貸与受取を確認します。自己資金は年次別に割り振っていません。教育訓練給付等や「その他の返済不要給付」は総額に含めますが、支給時期は年次別表に反映しません。

「費用の内訳」「返済不要支援の内訳」「貸与型奨学金・教育ローンの内訳」は、見出しを押して開閉できます。制度・金額を確認し、制度名の近くにある「公式案内を確認」から最新情報も確認してください。

総額が足りても支払日に注意してください

支給日・納付日は計算していません。収支がプラスでも、入学前の支払いに給付や貸与の振込みが間に合わず、立替資金が必要な場合があります。最後に「確認事項」を読み、支払いと受取りの時期も確認してください。

[JASSO 公式 貸与と返還のシミュレーション](#)

7 入力例で結果を確かめる

自己資金だけを変えて比べる

「入力をリセット」を押し、生活費・給付・減免・貸与・教育ローンを利用しない条件で、自己資金だけを入力した例です。初期設定の総費用は **1,860,000 円** です。

自己資金	3 年間の総収支	読み方
1,000,000 円	-860,000 円	860,000 円の不足
1,860,000 円	0 円	過不足なし
2,000,000 円	+140,000 円	140,000 円の余剰

本校奨学金だけを 36 か月利用する例

自己資金とその他の支援を **0 円**、生活費なしにし、本校奨学金の貸与月数を **36 か月** とすると、**60,000 円×36 か月=2,160,000 円** を計上します。総収支は **+300,000 円**、返済・免除前の元金は **2,160,000 円** です。勤務償還による免除には条件と認定が必要です。

入力例を表示するボタンで練習する

「条件を入力」の横にある「入力例を表示」を押すと、現在の入力を次の条件に置き換え、すぐに再計算します。比較用に残したい条件は、先に控えてください。

項目	自動入力される内容
生活費	食費・日用品等 45,000 円／月、通学費 12,000 円／月
給付と減免	第Ⅱ区分、自宅通学、JASSO 給付 36 か月
貸与	本校奨学金 36 か月。その他の貸与・ローンは利用しない。
自己資金	500,000 円

確認する金額	初期設定での結果
入力した 3 年間の総費用	3,912,000 円
返済不要の支援	1,708,300 円
貸与・借入で用意する資金	2,160,000 円
自己資金・家族支援	500,000 円
3 年間の総収支	+456,300 円

総費用は **1,860,000 円 + (45,000 円 + 12,000 円) × 36 か月 = 3,912,000 円** です。資金・支援 **4,368,300 円** との差額 **456,300 円** が、プラスで表示されます。

8 入力や表示で困ったとき

第一種の選択肢が少ない場合

給付区分や通学形態に応じ、選べる月額が変わります。併給調整で 0 円となる条件では「利用しない」だけの場合もあります。JASSO 給付月数が 0 でも、第一種が通常の月額に戻るとは限りません。採用通知と画面の説明を確認してください。

神奈川県の特例を選べない場合

修学支援新制度の区分が選ばれていると、特例は選べません。比較のために特例を試す場合は、支援区分を「利用しない・区分不明」に戻します。実際に採用された制度を変更する手続ではありません。

入学時特別増額を選べない場合

第一種または第二種の月額・貸与月数を確認します。第一種が併給調整で 0 円の場合は、該当する採用想定をチェックも確認します。国の教育ローンを入力している場合は、先に 0 円へ戻します。増額を選んだ後は利用条件の選択も必要です。

教育ローンの金額でエラーが出る場合

利用しない場合は 0 円、利用する場合は 10 万円以上を 1 万円単位で入力します。本試算の上限は自宅通学 350 万円、自宅外通学 450 万円です。通学形態を変えた場合も金額を見直してください。

試算するを押しても結果が表示されない場合

処理中はボタンが「試算中...」になります。エラーメッセージが表示されたら、入力した金額・月数・利用条件を見直して再度試してください。通信状態を確認しても改善しない場合は、必要な入力内容を控えてからページを再読み込みします。

改善しない場合や古い画面が表示される場合は、時間を置いて再度お試しください。試験掲載のため、操作や不具合に関するお問い合わせは受け付けておりません。

別の端末で画面を開けない場合

本校から案内された URL をもう一度開いてください。URL が途中で切れていないか、案内された Google アカウント等の利用条件があるかを確認します。「現在、ファイルを開くことができません」などが続く場合は、時間を置いて再度お試しください。

最初から入力し直す場合

「入力をリセット」を押すと、生活費の追加や奨学金の利用、自己資金などを初期状態に戻して再計算します。比較したい条件と結果は、押す前にメモやスクリーンショットで控えてください。

9 確認事項と公式リンクの使い方

各奨学金の対象者、申請、条件等については、各実施機関の最新の情報でご確認ください。学校から案内する対象年度の資料と、採用・給付・貸与の決定内容を確認してご利用ください。

資金計画を決める前に確認すること

- ・月額と合計額、給付月数と貸与月数を取り違えていないか。
- ・自己資金や「その他の返済不要給付」に、選択済みの奨学金・ローンを重ねて入力していないか。
- ・利用条件・申請期限・併用条件・返還や勤務償還の条件を確認したか。
- ・入学前を含む支払日と、給付・貸与の受取時期が合っているか。
- ・生活費、試算対象外の費用、利息や保証料も含めて準備できるか。

画面の「公式情報確認日」は、表示している情報の確認時点を示すものです。ご自身の採用・給付が決まった日や、将来の金額を保証する日付ではありません。

画面の公式リンクを開く

- 1 各制度の入力欄の近くにある、実施機関・制度名のリンクを押します。結果の内訳にある「公式案内を確認」からも開けます。
- 2 公式サイトは別のタブで開きます。対象年度、申請期限、対象者、金額、併用条件を確認してください。
- 3 確認後は、元のシミュレーターのタブに戻ります。必要に応じて条件を直し、「試算する」を押してください。画面下部の「根拠資料・公式リンク」からも確認できます。

試験掲載とお問い合わせについて

本シミュレーターは試験的に掲載しています。このため、本シミュレーターの操作、表示内容、試算結果、不具合等に関するお問い合わせは受け付けておりません。

表示する金額・制度情報および本書の金額例は、あくまでも試算・参考情報です。制度改正、学費・物価等の変動、個別の審査等により実際と異なる場合があります。試算結果の正確性や実際の費用・給付額・貸与額・返済額を保証しません。奨学金の採用、融資、返還免除を確約するものでもありません。資金計画は、各実施機関の最新の公式情報と決定通知等を確認したうえでご検討ください。

10 公式リンク一覧

文書内のリンクから各機関の案内を開けます。**Word** では設定により **Ctrl** キーを押しながらクリックします。スマートフォンや **PDF** ではリンクをタップしてください。

本校と自治体の案内

[本校 学費・奨学金制度](#)

[神奈川県 看護師等修学資金](#)

[川崎市 看護師等修学資金](#)

修学支援新制度と JASSO

[文部科学省 高等教育の修学支援新制度](#)

[JASSO 給付奨学金の支給額](#)

[JASSO 進学資金シミュレーター](#)

[JASSO 第一種の貸与月額](#)

[JASSO 第一種の併給調整](#)

[JASSO 第二種の貸与月額](#)

[JASSO 入学時特別増額の概要と利用条件](#)

[JASSO 他の給付との併用に関する FAQ](#)

社会人・ひとり親向けの支援と教育ローン

[厚生労働省 教育訓練給付制度](#)

[こども家庭庁 自立支援教育訓練給付金](#)

[こども家庭庁 高等職業訓練促進給付金](#)

[日本政策金融公庫 国の教育ローン](#)

各奨学金の対象者、申請、条件等については、各実施機関の最新の情報でご確認ください。

本書の金額例は 2026 年 9 月 24 日更新の設定に基づく参考値です。制度・経済状況・学校の設定変更等により、画面の金額が変わることがあります。金額や試算結果を保証するものではありません。